



いもにかい



実施日：令和3年10月26日
対象児：全園児

芋煮会の由来

芋煮会の由来は、1600年代半ば頃の江戸時代遡ります。
山形市の中山町長崎付近に船着場があり、近くには里芋の名産地がありました。
船頭たちが荷物の引き取りの人が来るのを待つ間、退屈しのぎに近くの老松に鍋をかけて、里芋と積み荷の棒ダラなどを煮て食べたことが芋煮のルーツと言われています。



芋煮会は各クラスが携わり豚汁作りをしました。1歳児が育てた人参を収穫し使いました。

2歳児はしめじさき、3歳児は白菜ちぎり、4歳児はこんにゃくちぎり、5歳児は大根とにんじんを包丁で切り、芋煮汁が完成です。雨天ではありましたが、テントを張り大きな鍋でつくる過程を見たり、出来上がりまで野菜クイズをし、楽しい時間を過ごしました。3歳児以上は自分たちでおにぎり作りにも挑戦し、ふりかけや好きな具を選びました。満足そうにおにぎりを頬張り、みんなで作った芋煮汁を味わいました。園長 小川

